

# まとまりのある英文を読むことができる生徒の育成

～ 英語を英語のまま理解しやすくするための授業展開の工夫を通して ～

特別研修員 外国語 朝香弘恵 (中学校教諭)

## 生徒の実態



長めの英文を読むのは少し大変そうだけど、挑戦してみたい。日本語に訳すのに時間がかかるし、どうしたらいいのかな。

英文を読んでいると、単語や文法の細かいところが気になって内容が全然頭に入っていない。読み方が間違っているのかな。



## 教師の願い

「英文を読む」＝「英文の和訳をすること」ではない。英語で書かれた文章から、情報やメッセージを正確に読み取ることだと気付いてほしい。



「全ての意味を完璧に理解しなくては」と意気込んでしまうと、結局最後まで英文の内容が全く分からなくなってしまいます。内容をつかむコツを身に付けられるよう指導したい。



## 「まとまりのある英文を読む」とは...

- ・句や段落のまとまりを意識しながら読み、概要をとることができる。
- ・読みの視点をもって英文を読むことができる。
- ・大切な部分などを正確にとらえ、まとまりのある英文を読むことができる。

(はばたく群馬の指導プラン)

## 手立て① ピクチャーカードによる新出語句の導入

覚えやすく、忘れにくく、思い出しやすいことがメリット。楽しく効率的に語句を身に付けることができ、英文を読むのに役立つ。



## 手立て③ ☆文と文とのつながりを意識したリレー音読 ☆キーフレーズの定着

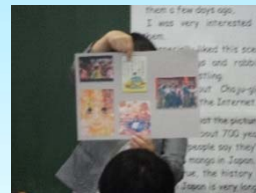
一度に理解できるフレーズで区切って意味を取っていくことで、英語のリズムに乗って最後まで読み進めることができる。



本文中の重要表現を同じ文法構造の別の表現と入れ換え繰り返し読み込むことで、句のまとまりや意味の切れ目に気付く。



## 手立て② 教科書本文と同じ形式で書いた自作英文の紹介



生徒の興味関心を引きつける身近な話題を教科書の内容と関連づけてイラストと共に提示し、本文の読解に入りやすくする。

## 英文解釈の成功体験→読む意欲の持続

- ◆英文の大まかな内容が把握できたかどうか確認するため、簡単な英語の設問を用意する。
- ◆発問はあくまで本文の表現を少し言い換えたレベルで行い、正解することで読みの視点をもって読むことができたと評価する。

英文を読むのが楽しくなってきた！

目指す生徒像

まとまりのある英文を読むことができる生徒



## 成果と課題

- 視覚が直接理解に繋がることを利用した語彙習得や内容把握の仕方を奨励することで、生徒は比較的長い英文を読むことに抵抗感がなくなり、初見の長文にも意欲的に取り組めるようになった。
- 単語を1つずつ見ることから脱却し、意味のかたまりを押さえることで読みのスピードが向上した。
- 話の内容に対して感想や考えを述べたり、本文を参考にまとまりのある英文を書いたりする活動を取り入れることで、英文を読む力を更に伸ばすことができるのではないか。